



2019・9・21

第 351 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

懐柔と分断めざす安倍改憲シフトに反撃を

9の日に9条への想い重ねて

【岡山県高梁市／高梁9条の会】 高梁

9条の会は、憲法9条の「9」にちなみ、9月9日午前9時9分から「憲法9条を守り生かそう」の決意をこめ、14寺院でいっせいに「平和の鐘つき」を行いました。毎年同じ日時に行っているもので、9回目。

この日、各寺院には、会員、市民、住職のみなさん合わせて63人が参加。戦争で犠牲になられた方々への黙祷をささげるとともに、9条改憲を許さない決意を込めて、9つの鐘をつきあいました。

ある寺院の住職は「平和で幸せな社会をつくろうというみなさんの運動は、私ども仏教の道と同じ方向です。ぜひ継続してください」と励ましの挨拶をされました。

また、他の寺院でも「戦争のない日本を、と活動されている9条の会のみなさんに敬意を表します」「来年もぜひ鐘つきに来てください」などと激励と共感の挨拶とともに「9条の会の活動に使ってください」と募金を寄せられた寺院もありました。（「高梁9条の会ニュース」N0181）

“高い壁”突破めざし改憲シフト

安倍首相9月11日、内閣改造、党役員人事後の記者会見で、参院における3分の2割れにもかかわらず「新しい体制の下で憲法改正に向けた議論を力強く推進する」「自民党は今後、憲法審査会において強いリーダーシップを発揮していく」と語りました。

もちろん、衆参3分の2以上という発議要件は変わっていません。しかし、閣僚のうち12人を日本会議のメンバーが占め、党4役も二階幹事長、鈴木総務会長、岸田政調会長、下村選対委員長が口をそろえて安倍首相が表明した改憲推進発言に賛意を表明しています。これらの人選は野党対策も意識したものといわれます。

野党の懐柔と分断、改憲世論の盛り上げを推進することによって“高い壁”を突破しようという「安倍改憲シフト」です。

【福岡県／九条の会福岡県連絡会】

九条の会福岡県連絡会は9月9日午前9時9分に寺院や教会の鐘を鳴らす「平和の鐘」に県内各地で取り組みました。

福岡市中央区の光円寺では会員11人が集

まり、時間にあわせて次々に鐘をつきました。石村善治代表世話人は憲法改悪への執念をあらわにする安倍政権を批判し、「一緒に鐘をたたき、9条守れの意思を全世界に届けよう」とあいさつしました。

参加した高柳英子さん(70)は「学校で平和憲法を学び誇らしさを感じました。若い方々も原爆などの実相を伝えると『そうだったのか』と変わっていく。楽しみも交えてロコミで一人一人に訴えていきたい」と語りました。

【富山県高岡市／高岡地区9条の会】
高岡地区「9条の会」は9日、高岡市の二上山にある大梵鐘「平和の鐘堂」で、憲法を守り、平和への願いを込めて鐘の音を青空に響かせました。

代表の藤田政治さんが「憲法は厳然たる平和の宝。われわれが力を合わせて憲法9条を守ろう」とあいさつし、午前9時9分から鐘を突き始めました。

参加した21人は「9条の心、世界に響け」「沖縄まで届け」「憲法9条変えるな」とそれぞれ思い思いの声を張り上げて1人1回ずつ平和への思いを込めて鐘をつきました。

ピースウォークに沿道から声援

【札幌市西区／戦争させない札幌西区の会、琴似・山の手両「9条の会】 戦争させない札幌西区の会と琴似、山の手両「9条の会」は9日、午前9時9分の時刻に合わせてピースウォーキングをしました。

「二度と戦争しないと誓った憲法を守るのは当然。応援しています」と60代男性一。

「改憲反対」ののぼりを先頭に、手作り

の横断幕「子どもたちに平和を」やボードを掲げ、地下鉄琴似駅前からJR琴似駅前的までの商店街の1・2キロを歩きました。

「アベ政治を許さない」「まもろう憲法9条」のゼッケン姿でアピール、「戦争する国づくりをストップさせましょう」と元気よく唱和しました。

3000万署名の地域目標達成めざす

【青森市茶屋町／9条を守る茶屋町の会】 台風15号の影響で真夏のような暑さとなった9日、青森市の9条を守る茶屋町の会は、10人が集まり、横断幕やのぼり旗を掲げて道行く人に訴えました。

マイクを持った門倉昇会長「安倍首相は改憲に積極的に取り組むことを表明しており重大な局面を迎えています。息子や孫が戦争に狩り出されないよう改憲を絶対に阻止しましょう。3000万人署名の目標を達成し、さらに運動を強めましょう」と述べました。

近くの事務所から男性が駆け付けたり、隣の町から自転車でやってきて参加したりする女性もいました。

【宮崎県／憲法と平和を守る宮崎県連絡会】 憲法と平和を守る宮崎県連絡会は9日、宮崎市の山形屋前で3000万人署名を訴えました。

教職員OB「九条の会」みやざきの津守信弘さんは、「戦後74年、一人の外国人も殺さず、平和の歩みを保障してきたのが9条だ。憲法改悪反対、戦争法廃止の声を上げていこう」と訴えました。

県平和委員会の佐川嘉正副会長は「前文でうたっている『政府の行為によって再び

戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し』の言葉を心にきざもう。戦争する国への道を圧倒的多数の声で阻もう」と呼びかけました。

参加者のスピーチの「安倍改憲 NO」の声に駆け寄る人やチラシを見て署名する人もいました。

チラシを見た 35 歳の女性は「とにかく平和であってほしいという思いで署名した。いま戦争をしたがっている政治家が多くて良くないし、子どもたちにそんな未来を残したくない」と語りました。

街頭での訴えに聞き入る青年も

【北海道岩見沢市／岩見沢 9 条の会】

岩見沢 9 条の会（ト部喜雄代表）は 9 日、JR 岩見沢駅前前で早朝宣伝をしました。

ト部代表が、マイクを握りました。防衛省の予算が過去最高の 5 兆 3223 億円に達し、安倍自公政権が 6 年連続で軍事費の増額を過去最高にし、トランプ米大統領言いなりで戦闘機の“爆買い”をした、と強く批判。

フィンランドに行った話をし「消費税はありますが国民生活優先で予算を使います。フィンランドにできて、この国にできないはずはありません。国の主人公は私たち国民です」と呼びかけました。

若者が訴えを最後まで聞いていました。

【徳島県／九条の会徳島】 九条の会徳島は 9 日朝に徳島市でスタンディング宣伝し、「9 条を守ろう」とアピールしました。

参加した 14 人が徳島駅近くの元町交差点の 4 ヶ所に立ち、「守ろう 9 条いかそう憲法」の横断幕、I♥（ラブ）憲法」のプラカードなどを掲げました。

行動は、安倍政権が集团的自衛権の行使容認を決定した直後の 2014 年 9 月から毎年行われ、6 年目になります。

河村洋二郎事務局次長は「参院選で改憲派の 3 分の 2 を阻止でき、運動を続けてきて良かった。改憲に執念をみせる安倍政権に対し、憲法を守る世論を確かなものにしていきたい」と語りました。

政治家によるマスコミ操作批判

【名古屋市守山区／もりやま 9 条の会】

7 日、もりやま 9 条の会が 13 周年のつどいを開き、「安全保障関連法に反対する学者の会」呼びかけ人の高山佳奈子京都大学教授が記念講演し、160 人以上が参加しました。

高山氏は参院選について「改憲勢力 3 分の 2 を阻止したのは勝利であり、間違いなく市民運動の成果。これをもっともっと大きな声で主張してほしい」と強調。

9 条改憲と立憲主義の回復に触れ、「政治家の圧力によるマスコミ操作や人事を通じた司法・行政が操作され、正常なチェックが機能していない。立憲主義を立て直すには市民の声が必要」と話しました。

世話人の福吉勝男さんは「参院選の結果と野党と市民の共通 13 項目に確信を持ち、総選挙勝利に努力しよう」と語りました。

友人と参加した女性（81）は「安倍首相の政策は頭にくる。共闘を強め、こんな政治は早くやめさせほしい」と述べました。

北陸 3 県が交流集会

【9 条の会北陸ブロック】 石川、富山、福井の北陸 3 県の 9 条の会は 8 日、金沢市で「9 条の会」北陸ブロック交流会を開催

し、65人が参加しました。北陸3県の経験を交流し9条を守り生かす運動推進の力にしようと毎年開催し10回目となりました。

東京慈恵会医科大学の小沢隆一教授が参院選後の改憲動向と課題・展望について記念講演し、「市民と野党の共同を発展させ、13項目の共通政策で合意し、10の1人区で野党統一候補が勝利、改憲勢力に3分の2の議席を与えなかった。それでも安倍自民党は改憲を諦めていない。今年から来年にかけて改憲問題の正念場になると指摘。「自民党改憲案の問題点・危険性をどれだけ広められるかがカギとなる」と述べ、「3000万人署名を達成し参院選での足場を土台に安倍改憲阻止をさらに強めよう」と訴えまし。

3県の代表から活動報告が行われ、その後分散会で交流が行われました。

「戦争の語り部」となって

【九条美術の会】 全国の美術家・美術関係者でつくる「九条美術の会」は15日、東京都内で講演会を開き、約130人が参加しました。

漫画家のちばてつやさんと憲法学者で武蔵野美術大学教授の志田陽子さんが平和や表現の自由への思いを語りました。

「漫画で戦争の語り部に」と題して講演したちばさんは、「満州」（中国東北部）から引き揚げた体験を描いたイラストをプロジェクターで映しながら、当時の過酷な状況を振り返りました。「飢えと寒さで多くの人が死んだ。今でもテロや戦争で同じ思いをする人がいます。漫画で戦争の体験を描き、若い世代に伝えていきたい」と話し、「戦争はしないとみんなで声をあげていけた

ら」と呼びかけました。

志田さんは、「憲法が保障する平和と表現の自由とは」をテーマに講演。「愛知トリエンナーレ2019/09/19」の「表現の不自由展・

その後」の展示中止に触れ、表現者の自由と同時に「知る権利」の侵害が問題だと指摘しました。また、戦時中の検閲の実態や、芸術作品に対して「解釈の自由」がなかったことを紹介し、異なる意見を排除せず議論を続けることの大切さを訴えました。最後に志田さんがミュージカル「レ・ミゼラブル」の劇中歌「夢やぶれて」を熱唱すると、会場は大きな拍手で包まれました。

私は訴えます

3000万人署名運動にご参加を

今できることをしようと思い、まずは家族・友人・サークル・職場・郵送でと署名をもらいました。ときどきしながらお願いしました。日々の生活と酷暑にめげることも多いのですが、署名をもらおうと元気ができました。

国民の困難に思いをはせない安倍政権の憲法改正はとても怖いのです。警察権力・メディア・表現の自由にも介入している現状があるからです。教育基本法や安保関連法・共謀罪などと心配な法律の改悪も続きます。

しかし、一人の声も集まって大きくなれば必ず憲法改正を止めることができるはずです。

あなたも3000万人署名に参加してください。ご一緒にもっともっと署名を広げてくださいませ。 小川 洋

（「あつぎ・九条の会」NO155）